

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

当事業年度より「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を適用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券 時価のあるもの・・・決算日の市場価格等に基づく時価法

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

役員退職慰労引当金・・・役員退職慰労金の支給に備えるため、規程に基づく期末要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	3,718,870,184	0	72,351,560	3,646,518,624
	定期預金	570,000,000	0	0	570,000,000
	基本財産合計	4,288,870,184	0	72,351,560	4,216,518,624
特定資産	役職員退職引当資産	8,000,000	3,122,406	0	11,122,406
	助成寄附金引当資産	0	8,000,000	0	8,000,000
	学術振興事業基金	48,141,187	13,479	10,000,000	38,154,666
	法人運営事業基金	100,537,020	0	0	100,537,020
	特定資産合計	156,678,207	11,135,885	10,000,000	157,814,092

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	3,646,518,624	3,646,518,624	-	-
定期預金	570,000,000	570,000,000	-	-
小 計	4,216,518,624	4,216,518,624	-	-
特定資産				
役職員退職引当資産	11,122,406	-	-	11,122,406
助成寄附金引当資産	8,000,000	8,000,000	-	-
学術振興事業基金	38,154,666	38,154,666	-	-
法人運営事業基金	100,537,020	100,537,020	-	-
小 計	157,814,092	146,691,686	-	11,122,406
合 計	4,374,332,716	4,363,210,310	-	11,122,406

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益（受取配当金）計上による振替額	43,410,936
基本財産運用益（定期預金利息）計上による振替額	248,875
特定資産運用益（学術振興事業基金利息）計上による振替額	14,345
学術振興事業基金取り崩しによる振替額	10,000,000
合 計	53,674,156